

第34回 全国きき酒選手権大会

新チャンピオン誕生！



個人の部は宮城県・本郷憲吉さん

団体は滋賀県チーム（長谷川・田中ペア）



- ▲ 団体の部を制した滋賀県チーム（右が長谷川さん、左が田中さん）
- ▶ 輝く笑顔！個人の部新チャンピオンの本郷さん

■ 2014 年度の日本酒きき酒チャンピオンを決定する「第 34 回 全国きき酒選手権大会」(主催＝日本酒造組合中央会)が 10 月 24 日の午後、東京千代田区のホテルニューオータニで開催され、＜個人の部＞では宮城県代表の本郷憲吉さん、また＜団体の部＞は長谷川義成さんと田中陽介さんの滋賀県チームが、並み居る強豪を制して栄冠を手に入れました。激闘の一日をレポート。



勝利を祝福する日本酒造組合中央会の櫻井副会長(右から2人目)と、全国農業協同組合連合会の栗原原材料課長(右端)、日本酒マスコット・おちよこくん(左端)



真剣勝負！

🍷 36都道府県72名が激戦。学生チームも特別枠で参戦

各地区の予選を勝ち上ってきた名うてのきき酒名人たちが、年間統一チャンピオンの座を賭けて激突する「全国きき酒選手権大会」。もはや説明要らず、日本酒業界最大の人気イベントです。34回目となる今大会には、36都道府県から72人の選手(男性48、女性24)がエントリーして熱戦を展開。また、特別枠として大学対抗の部も設けられ、全国13大学26名の大学生が参戦しました。



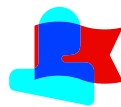
目指すは、これ(団体優勝旗と個人の部優勝杯)



◀ 開会式の冒頭、中央会の佐浦需要開発委員長が挨拶。「今回は参加者の平均年齢が41歳と、前回より2歳若返りました。女性出場者の割合も30%に増え、どの県が、誰が優勝するのか楽しみです。ほどよい緊張感を持って競技を楽しみ、お互いの交流をはかってください」



◀ 昨年団体の部で優勝した長野県チームが優勝旗を返還。



◀ 選手宣誓は大阪府チームの米澤さん(左)と野添さん。「私たち選手一同は、お酒を通じて得た多くの出会いに感謝しつつ、精一杯きき酒することを誓います」



▲ 審査委員長は(独法)酒類総合研究所の後藤奈美理事(左3人目)。右端は審査委員の須藤中央会技術顧問。



▲ 中央会の濱田競技委員長が競技方法を説明。徐々に緊張が高まってきてー



▲ いよいよ試合開始。まずは日本酒の基礎知識を問う筆記試験。

🍷 緊迫の闘いの後は、ゲスト3人のトークショーでリラックス



午後1時、いよいよき酒競技本選のスタート。競技方法は、7種類の日本酒（純米吟醸酒、大吟醸酒、純米酒、本醸造酒、生酒、低アル酒、普通酒）を2回き酒して同じ種類を合わせるマッチング法。選手たちは4つのグループに分かれて、それぞれ15分の制限時間の中、静かで熱い、緊迫の闘いを繰り広げました。競技終了後には、公認スポーツ栄養士で日本酒スタイリストのこばたてるみさんと、シドニー五輪水泳のメダリスト・中村真衣さん、2014年ミス日本酒の森田真衣さんの3人によるトークショーが開かれ、お酒とスポーツをめぐる楽しいおしゃべりに、闘い終えた選手たちもホッと一息。



静寂と熱気に包まれた競技風景。特別参加の学生も真剣そのもの(右)。



▲ 試合は今年もプレーオフ決着へ。闘志満々の出場者。



▲ 「大きな大会の後に仲間と一緒に飲むのが楽しみてした」(中村さん)。酒とスポーツ、健康、料理 etc. 楽しい話題をめぐってにぎやかトーク。

🍷 36都道府県72名が激戦。学生チームも特別枠で参戦



闘いの後は、参加者全員が胸襟を開いて懇親のひと時。中央会の櫻井副会長の発声で「日本酒で乾杯！」した後、日本酒を手に互いの健闘を称え合いました。注目の表彰式では、各部門の入賞者に櫻井副会長と全農の栗原原材料課長から賞状や記念品（日本酒と全農提供のお米券など）が手渡され、鍛錬の成果をこころで発揮した各氏の活躍に盛んな拍手が贈られました。優勝者の喜びの言葉は下のとおり。



▲ 団体の部を制した滋賀県チームの田中さんは、農業の傍ら居酒屋を経営。「月1回開いている滋賀の地酒を楽しむ会で、お客様と一緒にきき酒をしています。勝ててほんとにうれしい」
▲ 終始笑顔の長谷川さん建設業勤務。「お世話になっている酒蔵に喜びを伝えたい。とにかく飲むのが好きで、仕事の後の日本酒は最高ですね」



▲ IT 関係り仕事に携わる本郷さんは、全国大会への出場 2 回目、見事個人の部初優勝。「前回の雪辱を果たせました。会場に入るまでは自信がなかったけど、一口きき酒したときに手応えを感じました。ボクのきき酒のコツはリラックス。練習をすると成績がよくないので、今回も何もやってません」とニコリ。



大学対抗の部は、1位日本大学、2位神戸大学、3位明治大学



個人の部10位から4位入賞のみなさん



団体の部3位は、佐藤直哉さん(左)と紺谷健一郎さんの北海道チーム



生田稔さん(左)と河野登美子さんの大分県チームが見事準優勝



個人の部で準優勝した栃木県代表の伊藤さん(左)と3位入賞したしる県代表の鬼頭弘茂さん。

闘い終わって～ オフサイドの 風景

第34回 全国きき酒選手権大会
平成26年 10月24日



◀ 後藤審査委員長の講評からー
「ちょっと意地悪をして判断が微妙なお酒も交ぜてみました。制限時間もあって難しい中での競技でしたが、皆さん素晴らしいきき酒能力をお持ちなので驚きました」



中村さんがシドニー五輪
で獲得した銀・銅メダル



ゲストの中村さん、こばたさん、森田さんもノリノリ



来年、またこの場で会いましょう！



▲ 最後は、中央会需要
開発副委員長の七田副
委員長が中締め挨拶。

